

「気仙沼保健所 感染症だより」は、管内の感染症発生状況及び感染症予防に関する情報提供を行うお便りです。

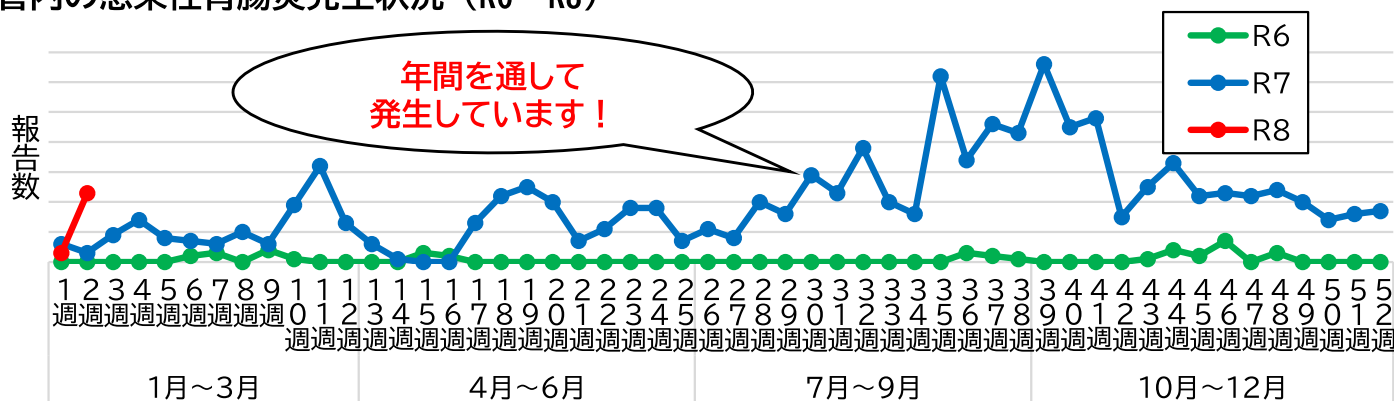
感染症×Topics

みんなで防ごう！感染性胃腸炎



管内の感染性胃腸炎はR7年から持続的に発生がみられ、R8年に入り施設等で集団発生報告もあり、注意が必要です。原因はノロウイルスやロタウイルス等で、牡蠣のような二枚貝の不十分な加熱や感染者の吐物等から感染します。感染性胃腸炎は「おなかの風邪」と呼ばれることもありますが、原因の一つであるノロウイルスは感染力が非常に強く、人から人へ簡単に広がります。そのため、正しい感染対策を行い、周囲にうつさないことが大切です。

管内の感染性胃腸炎発生状況 (R6～R8)



冬に流行しやすい感染症 ～感染性胃腸炎～

1. 原因・症状

症状・特徴

主に吐き気、嘔吐、下痢、腹痛。潜伏期間は12～48時間。感染しても症状がでない不顕性感染や軽い風邪、悪寒、吐き気だけの症状も場合があります。症状は数日で軽快しますが、糞便中には通常1週間、長ければ1か月以上の長期間に渡ってウイルスの排出が続くことがあるので、注意が必要です。

感染経路

ウイルスが付着した二枚貝等を食べたり、感染者の便や嘔吐物に含まれるウイルスが手を介して体内に入ることによって感染します。

2. 予防方法

感染しないように

手洗い

原因の一つであるノロウイルスには、アルコールの効果がないので、流水と石鹸で手を洗います。

帰宅後、調理前、食事前、トイレ後、吐物処理後やおむつ交換後は、必ず手洗いを！

加熱

二枚貝等は中心部まで**しっかり加熱**しましょう。



感染を広げないために

消毒

嘔吐物処理には**0.1%濃度の次亜塩素酸ナトリウム希釈液**を使います。患者が使用したトイレや台所のふきんやまな板等は、熱湯消毒または**0.02%濃度の次亜塩素酸ナトリウム希釈液**を使用して、消毒してください。消毒後は**しっかり手洗い**をしましょう！

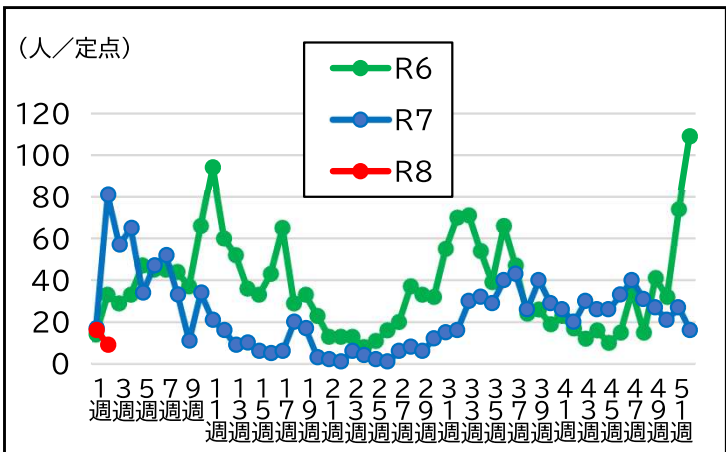
入浴

患者は最後に入るようにし、入浴後はしっかりと清掃します。**毎日湯は入れ替え**ましょう。**タオル等の共有はしない**でください。

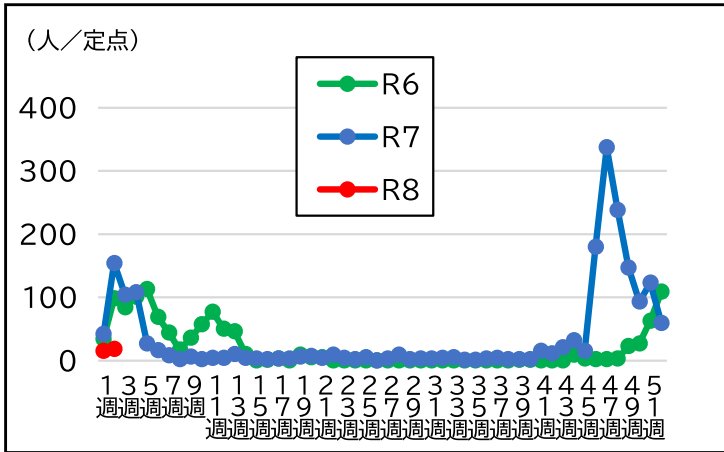


気仙沼保健所感染症サーベイランス （管内1定点医療機関当たりの報告人数）

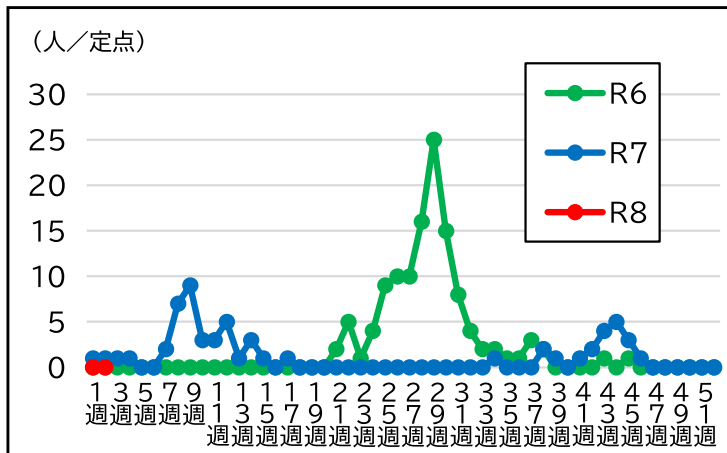
新型コロナウイルス感染症【インフルエンザ/COVID19定点】



インフルエンザ【インフルエンザ/COVID19定点】



RSウイルス



感染性胃腸炎

